

「陸上競技研究紀要」第1巻

2005年3月31日発行

発行人 櫻井 孝次

発行所 財団法人日本陸上競技連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL : 03-3481-2300

陸上競技研究紀要 第1巻

編集後記

リニューアルした陸上競技研究紀要第1巻が完成しました。この研究紀要は、これまで普及部が中心となって編集していた「陸上競技紀要」と、科学委員会の各年度の活動をまとめた「科学委員会研究報告」を1つにまとめ、陸上競技に関する研究、調査、アイデアなどを発表する場を提供し、わが国の陸上競技の発展に寄与することをねらって新たに出発しました。

記念すべき第1巻には、学会の専門誌でも集まらないほどの原著論文、資料が寄せられましたが、査読審査を経て、原著論文8編、資料5編が掲載されています。原著論文にはわが陸上界から世界に情報を発信することを目指して、英文のタイトルや要約をつけていただきました。これは、将来、この研究紀要を国際陸連が発行しているNSA (New Studies in Athletics) に匹敵するような内容のものにしたいと、陸連の方や編集委員が考えたためです。

第2部の科学委員会報告書には18編の報告書が掲載されています。これは、科学委員会がこの数年作成してきた報告書の延長上にあるもので、現場の指導者には一流選手のデータを知るための貴重な資料となっているようです。

この研究紀要は、上述したような蓄積の上にスタートしたのですが、まだまだ不備があると思います。このことは言い換えると、大きな進歩の可能性を持っていることにもなります。この研究紀要がどのように発展するかは、陸上競技を愛する人々、少し違った眼（例えば、科学的な）で陸上競技をみてやろうという人々にかかっています。多くの方の投稿、意見、叱咤激励をお願いする次第です。

最後になりましたが、多忙にもかかわらず、櫻井専務理事から丁寧な挨拶を寄せていただきました。ここにお礼も申し上げます。

また、この研究紀要は、陸連役員諸氏のご理解、ならびに事務局の風間 明氏、森 泰夫氏、三宅 聡氏の献身的な努力がなくては生まれなかったものです。ここに記して心より感謝致します。

文責 阿江通良（編集委員長）

陸上競技研究紀要第1巻 編集委員
阿江通良（編集委員長）、岡野 進（副委員長）、梶原洋子、伊藤 宏
松尾彰文、杉田正明
（事務局）風間 明、森 泰夫、三宅 聡